

シンクロナイズドスイミング競技規則（2014）正誤表

誤	正
<p>P34 SS16.4 1名のジャッジが病気または不測の事態により、ルーティン を採点できなかった場合、<u>他の5名または6名のジャッジの</u> 採点を平均し、そのジャッジの採点とみなす。この場合、 小数点以下第1位まで算出する。</p>	<p>P34 SS16.4 1名のジャッジが病気または不測の事態により、ルーティン を採点できなかった場合、<u>他のジャッジの採点を平均し、そ</u> のジャッジの採点とみなす。この場合、小数点以下第1位ま で算出する。</p> <p>誤) 他の5名または6名のジャッジの → 正) 他のジャッジの</p>
<p>P69 <u>BL11.1.1</u> オリンピック競技大会および世界選手権大会のルーティン セッションでは、最低 12.0m×30.0m の水域を必要とし、その うちの 12.0m×12.0m は水深が 3.0m 以上なければならない。</p>	<p>P69 <u>FR11.1.1</u> オリンピック競技大会および世界選手権大会のルーティン セッションでは、最低 12.0m×30.0m の水域を必要とし、その うちの 12.0m×12.0m は水深が 3.0m 以上なければならない。</p> <p>誤) BL11.1.1 → 正) FR11.1.1</p>
<p>P104 111 サブマリン バレーレグダブル 2.3 <u>水上バレーレグダブル姿勢</u>までバレーレグダブルを行う。身 体を垂直に沈め、<u>水中バレーレグ姿勢</u>になる。身体を垂直に浮 上し、<u>水上バレーレグ姿勢</u>になる。バレーレグダブルのよう に終わる。</p>	<p>P104 111 サブマリン バレーレグダブル 2.3 <u>水上バレーレグダブル姿勢</u>までバレーレグダブルを行う。身 体を垂直に沈め、<u>水中バレーレグダブル姿勢</u>になる。身体を垂直に 浮上し、<u>水上バレーレグダブル姿勢</u>になる。バレーレグダブルの ように終わる。</p> <p>誤) 水中バレーレグ姿勢 → 正) 水中バレーレグダブル姿勢 誤) 水上バレーレグ姿勢 → 正) 水上バレーレグダブル姿勢</p>

<p><b>P46 SS19.2</b> テクニカルルーティンの各パネル（エクスキューション、インプレッション、エレメンツ）の点は、カテゴリごとに次のように算出する。</p> <p>エクスキューション点：パネルの最高点と最低点（各1）を除く。残りの3つの採点を合計し、3で割り、3をかける。</p> <p>インプレッション点：パネルの最高点と最低点（各1）を除く。残りの3つの採点を合計し、3で割り、3をかける。</p> <p>エレメンツ点：難易率が指定されている規定要素それぞれについて、最高点と最低点（各1）を除く。残りの3つの採点を合計し、3で割る。その規定要素の難易率をかけたものがその規定要素の結果となる。規定要素の合計点を規定要素の合計難易率で割り、10をかける（100点換算）。その結果に<u>4</u>をかける。</p> <p>（以下省略）</p>	<p><b>P46 SS19.2</b> テクニカルルーティンの各パネル（エクスキューション、インプレッション、エレメンツ）の点は、カテゴリごとに次のように算出する。</p> <p>エクスキューション点：パネルの最高点と最低点（各1）を除く。残りの3つの採点を合計し、3で割り、3をかける。</p> <p>インプレッション点：パネルの最高点と最低点（各1）を除く。残りの3つの採点を合計し、3で割り、3をかける。</p> <p>エレメンツ点：難易率が指定されている規定要素それぞれについて、最高点と最低点（各1）を除く。残りの3つの採点を合計し、3で割る。その規定要素の難易率をかけたものがその規定要素の結果となる。規定要素の合計点を規定要素の合計難易率で割り、10をかける（100点換算）。その結果に<u>0.4</u>をかける。</p> <p>（以下省略）</p> <p>誤) 4をかける。 → 正) 0.4をかける。</p>
--	---